

拝啓、寒さ厳しき折、先生方におかれましては、全国の不登校に悩む家族のため忙しくお過ごしのことと存じます。

水野先生、佐藤先生、ペアレンツキャンプの皆様には本当にお世話になりました。今、こうして卒業し、お手紙を差し上げることができ、

思えば長い不登校との戦いでした。少し年の離れた妹が生まれてすぐ、息子は小学生になりました。お兄ちゃんらしく何でも自分でして、全く手のかからない子でした。2年生の冬、離れて暮らす大好きなおじいちゃんが亡くなり、一週間学校をお休みしなければならなくなりました。その後運悪く、インフルエンザにかかってしまい、もう一週間お休みが続くことになってしまいました。快復した後、学校には登校しましたが、毎日「嫌だ、しんどい」という事を繰り返して訴えてきました。祖父の死の悲しみや色々なことでバが疲れてしまっているのだらうと、休むことを認めさせてしまいました。この時は学校の先生の協力もあり、数日の欠席で登校することができました。三年生は「学校は楽しくない」と言いながらも登校してました。その夏に、主人の実家に引越して、息子は学校を転校しました。

慣れない土地での暮らし、学級の雰囲気の違いになかなか馴染めない様子でした。あまり友達もできないようでした。そんな中、行き渋りが始まり、無理に玄関から出して、登校したと思っても、裏庭に隠れていたことも何度かありました。近くの竹やぶに隠れていたのを近所の人が見つけて下さり、学校まで送って下さったこともありました。数ヶ月この状態が続いた後、親の方が根負けした形で、再び学校を休むことを認めてしまいました。この時は三週間ほど学校を休んだ頃、親子で復学の日を決め、それに向かって準備をしました。なんとか三年生中に自力で復学し、四年生は欠席は多いものの登校でき、るようになりました。

五年生になると、ほぼ休むことなく登校していました。ですが、その三学期後半、学校へ行けない日が増えってくるようになりました。教室へ入れなくなり、保健室登校をするようになりました。遅刻して行ったり、早退したり、ほんの短い時間の登校でした。それでも、修学旅行の事前学習には参加することができました。修学旅行当日は参加しましたが、その日を境に学校へは行けなくなりました。まいりました。苦む息子を見て、私は小さな妹に目がいて、息子の

寂しさに気付いてやれなかったのではないか、愛情が足りなかったんだ。と
考えるようになり、今思えば過保護、過干渉のオンパレードでした。
また、成長した息子を再び学校へ向かわせることは、今回は親のカだけ
では無理なのではないかと思おうようになりました。その時、インターネット
トでいくつかの不登校専門の機関があることを知り、その内の一つに出かけ
て行くことにしました。電車で二時間以上かかるところだったので、
息子は行くと言いました。自分でも何とかしたいと考えていたのだと思いま
す。最初は順調でしたが、夏休み明けの復学に失敗したことで、行
けなくなっていました。私自身も子供への接し方に対する考え方に
少し疑問を感じてきていたので、他の支援機関を考えるようになって
いました。そうして、訪問型の支援をして下さる、ペアレンツキャンプさん
にお願いをすることにしました。

初めて水野先生とお話をさせて頂いた時、息子の苦しみと共に共
感して下さい、私にかけて下さった言葉でどれほど救われたかわか
りません。先の見えない不安と息子にどう接していけば良いのかわか
らなくなっていた私の心にすっと入ってくるお話で、すぐに支援
をお願いしたいと思いました。

支援が始まり、佐藤先生に顧問をしていただくことになりました。佐藤先生との電話カウンセリングは、本当に心の拠り所でした。日々の子供との関わり方、ほんの小さなことでも全て教えていただくことができました。おかげで少しずつ子供と接することへの不安がなくなってきました。

そして、いよいよ登校準備、復学当日となるのですが、そこでサプライズがありました。なんと水野先生が訪問カウンセラーのお兄さんという立場で我が家に来て下さったのです。もちろん息子にとってはそんなことは関係ないのですが、さすが水野先生。息子は水野のお兄さんに対して絶対的な信頼と尊敬の念をいっていました。カードゲームでは師匠と仰ぎ、お兄さんの来て下さる日を心待ちにしているほどでした。そして、この時教えて頂いたカードゲームをきっかけに、息子は友達との関わりを楽しくすることができるようになってきました。

一昨年の十月二十三日、息子は学校へ戻ることができました。そして支援卒業までの約一年間、息子はペアレンツキャンプの全てのカウンセラーの先生にお世話になりながら、体調不良による

お休みなど数日ありましたが、二日と続くことなく登校すること
ができています。年明けからの登校も順調です。

あの頃の子供の問題に必要以上に干渉して、苦しんでいた
私は、もういません。PCMを学ぶことで子育てが気楽になりました。
どうしたらよいのか分からないという時でもPCMに当てはめて考え
ることによって答えが出せるので、不安に思うことがなくなりました。

今、下の子が不登校で悩んだ息子と同じ年齢になつてきまし
た。日々、色々ありますが、先生方に教えて頂いたことをブレずに
実践していけば大丈夫ですよ。この一年三ヶ月の間に先生方
から頂いたものが私の心のお守りになっています。

本当に本当にありがとうございます。親の会などにもできるだけ
参加させていたただいて、息子の成長をお話できる日を楽しみにした
と思います。ペアレンツキャンプの皆様、どうぞお体を大切に。これか
ら先生方のご活躍、心から応援いたします。

敬具

平成二十六年一月二十日

ペアレンツキャンプの皆様